

有野さん 二本松協力隊退任 「岩代おじさん図鑑」でPR



「岩代おじさん」たちに囲まれ、二本松市地域おこし協力隊を卒隊した有野さん（中央）

二本松市岩代地域の中高一貫校で、有野さんは「岩代おじさん図鑑」を企画、製作した同市の有野真由美さん（65）が今月末、同市地域おこし協力隊を退任する。有野さんは19日、自身の卒隊報告会で4年5カ月間の活動を振り返り、「限界集落と呼ばれる中でも、岩代の人たちは心の中までは過疎化していません。むしろ何歳になっても意気軒高で地域社会から頼りにされ、必要とされている。そんな岩代の姿を知ってほしい」と語った。

有野さんは岩代観光協会に所属し、図鑑では過疎化が進む岩代地域の個性豊かな住民をロールプレイイングゲームの攻略本風に紹介。その後継企画「岩代おじさん図鑑実践編 ふしぎな地図Ⅰ」の企画発行や「おじさん図鑑宣言」採択など、岩代地域の「おじさん図鑑の聖地化」に向けて取り組み、新たな地域振興策で県内外から人気を集めた。

図鑑面白く展開して

同市で開かれた卒隊報告会で、有野さんは「アリノ・マユミのおじさん見聞録」と題し、隊員としての活動や図鑑製作の裏話などをユーモアを交えながら紹介した。

有野さんは、図鑑製作のきっかけについて「おじさんたちの姿を通して、普通の人たちの善意や愛着、誇りが地域をつくっていることを都会の人たちに知ってもらいたいと思った」と説明。その上で、「岩代おじさん図鑑を今後、地元の皆さんが面白く展開し、地域ブランディングにつなげていってほしい」と変わらぬ「岩代愛」を伝えた。

引き続き有野さんは「猪を追う脚は多少遅くなっても、頭脳のCPU（中央演算処理装置）は最新型にアップグレード済み！」など、図鑑に掲載された22人の「おじさん」にメッセージを添えた感謝状を贈呈した。最後に岩代観光協会の湊幹夫会長から卒隊証書を受け、大勢の「岩代おじさん」たちから拍手を送られながら、笑顔で会場を後にした。

▲ 3月22日 福島民友新聞掲載

有野さんは、どんな立場の方で、どのような活動をしましたか？

図鑑製作のきっかけは、どのようなことからですか？

有野さんの岩代地域での様々な取り組みについて、ネット等でも調べ、感じたことをまとめてみましょう。